



九州南部で大雨

災害級の大雨、命を守る行動と警戒を！

活発な前線の影響で、九州南部では発達した雨雲が流れ込んで断続的に激しい雨が降っています。気象庁によると、6月28日夜の降り始めから7月1日午前11時までの総雨量は、宮崎県えびの市末永で682.5ミリ、鹿児島県薩摩川内市入来町で536.5ミリと報じられています。

梅雨前線は引き続き九州付近に停滞することから、3日後の今月4日ごろにかけて、九州を中心に西日本の各地で激しい雨が降るおそれがあり、当該地域では嚴重な警戒が呼びかけられています。

**組合員のみなさん、
家族や実家は大丈夫ですか？**

「災害級の大雨」で「命を守る行動」が呼びかけられている中で、心配されている方も多いかと存じます。

心配や不安なことは、遠慮なく分会役員や支部・地本まで相談してください！